

① 遠隔監視のみ(レベル4)で自動運転サービスの実現に向けた取組

将来像：

- ・ 2022年度目途に限定エリア・車両での遠隔監視のみ(レベル4)で自動運転サービスを実現。



(イメージ) 永平寺町：遠隔自動運転システム

主な検討課題



2021

- 事業モデルの整理
- 遠隔監視での1：3の運用の実証評価



2022

- 遠隔システムのセキュリティ対策
- 遠隔システムのインターフェイスの改善
- 1：Nの拡大や他タスクとの併用の実証評価
- 事業モデルの展開

将来イメージ

エリア・車両拡大

② さらに、対象エリア、車両を拡大するとともに、事業性を向上するための取組

将来像：

- ・ 2025年度までに多様なエリアで、多様な車両を用いたレベル4無人自動運転サービスを40カ所以上実現。



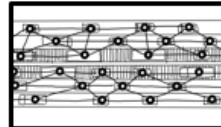
(イメージ) トヨタ・日野：自動運転バス

主な検討課題



~2022

- ユースケースの整理
- ODDの類型化
- 自動運転バスの高度化、多様化



~2025

- 民間の開発車両の活用
- 多様な走行環境、車両による実証評価
- 事業モデルの発展

将来イメージ

混在環境対応

③ 高速道路における隊列走行を含む高性能トラックの実用化に向けた取組

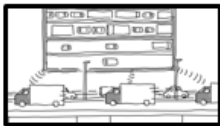
将来像：

- ・ 2025年以降に高速道路でのレベル4自動運転トラックやそれを活用した隊列走行を実現。



(イメージ) 高速道路での自動運転

主な検討課題



~2022

- レベル4を前提とした事業モデル検討
- レベル4検証用車両開発
- 運行管理システムのコンセプト検討



~2025

- ODDコンセプト等の評価、確立
- 運行管理システムの実証評価、確立
- 民間による車両システム開発
- マルチブランド協調走行の実証評価

将来イメージ

混在空間対応

④ 混在空間でレベル4を展開するためのインフラ協調や車車間・歩車間の連携などの取組

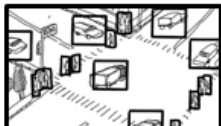
将来像：

- ・ 2025年頃までに協調型システムにより、様々な地域の混在交通下において、レベル4自動運転サービスを展開。



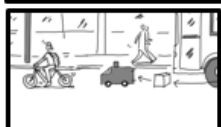
(イメージ) インフラからの走行支援

主な検討課題



~2022

- 協調型システムの評価
- データ連携スキームの検討
- 協調型の事業モデル検討
- 協調型システムの国際動向分析・戦略作成



~2025

- モデル地域での技術、サービス実証
- テストベッドを活用した検証、アップデート
- 協調型システムの国際協調、標準化提案

将来イメージ